

平成22年度 環境理工学部授業日程計画

前 期							後 期								
曜日	日	月	火	水	木	金	土	曜日	日	月	火	水	木	金	土
4月					1	2	3	10月						1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
								31							
1日～7日 春季休業 1日 新生オリエンテーション 2日 新生履修相談会 3日 TOEIC-IPテスト 8日 入学式、新生オリエンテーション 9日 授業開始							29日～5月5日 特別休業 29日 昭和の日 注:4月30日は休業日であるが授業を行う。								
5月							1	11月		1	2	3	4	5	6
	2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	11	12	13
	9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27
	23	24	25	26	27	28	29		28	29	30				
30	31														
3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日							3日 文化の日 【20日～22日 大学祭】 19日 午前:臨時休講 午後:臨時休業(大学祭準備) 22日 臨時休業 23日 勤労感謝の日(大学祭後片付け)								
6月			1	2	3	4	5	12月				1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11	12		5	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18	19		12	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25	26		19	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
19日 海の日 * 23日は月曜日の授業を行う。							23日 天皇誕生日 25日～1月7日 冬季休業								
7月					1	2	3	1月							1
	4	5	6	7	8	9	10		2	3	4	5	6	7	8
	11	12	13	14	15	16	17		9	10	11	12	13	14	15
	18	19	20	21	22	23	24		16	17	18	19	20	21	22
	25	26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
1日～9月30日 夏季休業 注:8月2日-5日は休業日であるが授業を行う。 6日～7日 オープンキャンパス 9日～11日 補講日 12日・13日・16日 夏季一斉休業							1日 元旦 7日 授業実施日とする。 10日 成人の日 * 11日は月曜日の授業を行う。 14日 センター試験実施に伴う臨時休講 15日・16日 大学入試センター試験								
8月								2月	1/30	1/31	1	2	3	4	5
	1	2	3	4	5	6	7		6	7	8	9	10	11	12
	8	[9]	[10]	[11]	12	13	14		13	14	15	[16]	[17]	18	19
	15	16	17	18	19	20	21		20	21	22	23	24	25	26
	22	23	24	25	26	27	28		27	28					
29	30	31													
16日～17日 補講日 11日 建国記念の日 16日～3月31日 臨時休講 25日・26日 一般入試(前期日程)							16日～17日 補講日 11日 建国記念の日 16日～3月31日 臨時休講 25日・26日 一般入試(前期日程)								
9月				1	2	3	4	3月			1	2	3	4	5
	5	6	7	8	9	10	11		6	7	8	9	10	11	12
	12	13	14	15	16	17	18		13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25		20	21	22	23	24	25	26
	26	27	28	29	30				27	28	29	30	31		
20日 敬老の日 23日 秋分の日							臨時休講 12日 一般入試(後期日程) 21日 春分の日 25日 卒業式								
前期計	16	16	16	16	16			後期計	16	16	16	16	16		
授業週数(含試験)							授業週数(含試験)								

↑ 7月23日を含む

↑ 1月11日を含む

は休業日及び臨時休講を示す。

は月曜日の授業を行う日を示す。

II 履修等に関すること

1 岡山大学環境理工学部履修細則

(趣 旨)

第1条 この細則は、岡山大学環境理工学部規程（平成16年岡大環第1号）第9条及び第20条の規定に基づき、岡山大学環境理工学部における授業科目及び単位数並びに卒業の要件に関し、必要な事項を定めるものとする。

(教養教育科目及び専門教育科目)

第2条 教養教育科目及び専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、別表に定める学科カリキュラムのとおりとする。ただし、教養教育科目は、学年の始めに岡山大学教育開発センター長が公示する授業科目とする。

(卒業論文履修資格)

第3条 卒業論文（環境数理学科においては情報課題研究を含む。）を履修できる者は、3年以上在学し、次の表に定める要件を満たした者とする。

学 科	要 件
環 境 数 理 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 教養教育科目 24単位以上 (外国語科目10単位以上含む) 3. 必修の専門教育科目 33単位以上
環境デザイン工学科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 教養教育科目の英語 (基礎英語及び上級英語を除く) 3. 必修の専門教育科目 } 39単位以上
環 境 管 理 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 100単位以上 2. 必修の教養教育科目 3. 必修の専門教育科目 } 56単位以上
環 境 物 質 工 学 科	次の各単位を修得した者 1. 卒業要件として認められる単位 102単位以上 2. 教養教育科目の外国語科目 8単位以上 3. 必修の専門教育科目 (必修実験を含む) 41単位以上

(専門基礎科目)

第4条 専門基礎科目は学部共通の授業科目とする。学部が開講する専門基礎科目は、第2条別表に定める学科カリキュラムにかかわらず、履修することができる。

2 学科の定める卒業要件単位数以上修得した専門基礎科目単位の取扱いは、次のとおりとする。

環境数理学科 : 卒業要件単位 [自由科目]

環境デザイン工学科 : 卒業要件外

環境管理工学科 : 卒業要件単位 [選択科目]

環境物質工学科 : 卒業要件外

(他学科及び他学部履修)

第5条 他学科及び他学部履修により修得した単位は、各学科の定めるところにより選択科目又は自由科目とすることができる。

附 則

1 この細則は、平成16年4月1日より施行する。ただし、平成15年度以前の入学者については、なお従前の例による。

2 前項ただし書きの規定にかかわらず、第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては、平成15年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この細則は、平成17年4月1日より施行する。ただし、平成16年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 2 前項ただし書きの規定にかかわらず、環境数理学科の平成15年度及び平成16年度入学者にあつては、第3条の表の要件の欄中1. 卒業要件として認められる単位及び4. 必修の専門教育科目の単位数をそれぞれ98単位以上及び24単位以上とする。

附 則

この細則は、平成18年4月1日より施行する。ただし、平成17年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成19年4月1日より施行する。ただし、平成18年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

- 1 この細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 ただし、第3条の表のうち環境デザイン工学科の欄の規定にあつては平成19年度以前入学者については、なお、従前の例による。
- 3 改正後の別表の規定にかかわらず、平成19年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成21年4月1日より施行する。ただし、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成22年4月1日より施行する。ただし、平成20年度以前の入学者については、なお従前の例による。

別表
学科カリキュラム

■環境数理学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講 Semester								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境数理学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8以上	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○						2以上	4単位まで			
	自然科学	○	○	○	○						2以上	(数理系, 統計学系の科目を除く)			
	生命・保健 科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学												卒業要件単位外			
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工1)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○					
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○								4以上	8単位まで		
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○									留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる	
教養教育科目 計														30	

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

2 「個別科目」の「自然科学」の中から、物理、化学を主たる内容とする科目（実験を除く）から必ず2単位以上取得すること。ただし専門基礎科目「現代の物理学」、「現代の化学」をもってこれに代えることができる。

専門教育科目

科目 区分	授業科目	配当年次及び 週授業時間数				単 位			履修要件	卒業要件 単 位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2		共通必修科目 4単位	専門基礎 科目及び 専門科目 98単位	
		技術者倫理 キャリア形成論	2				2				
	基礎科学系科目	線形代数Ⅰ	2				2		基礎科学系 必修科目 7単位 選択科目 2単位		
		線形代数Ⅱ	2				2				
		線形代数Ⅱ 演習	2				1				
		統計学Ⅰ	2					2			
		統計学Ⅱ	2					2			
		現代の物理学	2					2			
		基礎からの力学	2					2			
	環境科学系科目	現代の化学	2					2	環境科学系 選択科目 8単位 (※を2単位 以上含むこと)		
		環境と生物 ※	2					2			
		環境生物学 ※		2							2
		気象と水象	2								2
		環境と地理		2							2
		地球と環境	2								2
循環型社会システム				2				2			
水質学				2				2			
エネルギーとエントロピー				2				2			
環境と物質				2				2			
環境と地盤				2				2			
環境影響評価学			2				2				
基礎地球科学			2				2				
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ			2				2				
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ			2				2				
専門科目	微分積分Ⅰ	2				2		必修科目 37単位			
	微分積分Ⅰ 演習	2				1					
	微分積分Ⅱ	2				2					
	微分積分Ⅱ 演習	2				1					
	計算機リテラシ入門	2				2					
	離散数学入門		2				2				
	応用解析学A		2				2				
	ベクトル解析		2				2				
	情報統計学		2				2				
	数理統計学Ⅰ		2				2				
	プログラミング言語		2				2				
	プログラミング言語演習		2				1				
	計算解析		2				2				
	グラフとアルゴリズム		2				2				
	環境数理学演習			2			2				
	卒業論文				4		2				
	情報課題研究						10				
	計算機操作入門	2						2	2単位以上		
	計算機理論入門	2						2			
	線形代数Ⅲ		2				2		8単位以上		
	代数学Ⅰ		2				2				
	代数学Ⅱ			2			2				
	幾何学基礎		2				2				
	幾何学要論			2			2				
	応用解析学B		2				2				
	フーリエ解析と偏微分方程式			2			2				
	確率論			2			2				
	力学系とモデリング			2			2				
	実験数理			2			2			4単位以上	
	数値シミュレーションⅡ			2			2				
	計算統計学Ⅰ			2			2		2単位以上		
	数値シミュレーションⅠ			2			2				
	実験情報数理			2			2		2単位以上		
	計算統計学Ⅱ			2			2				
	数理統計学Ⅱ			2			2		2単位以上		
	計量アナリシスⅠ			2			2				
	環境アナリシス			2			2		4単位以上		
	環境情報モデル学			2			2				
	環境数理生物学			2			2		2単位以上		
	偏微分方程式とその応用			2			2				
	環境統計科学Ⅰ			2			2		2単位以上		
	環境統計科学Ⅱ			2			2				
	応用数理Ⅰ			2			2		2単位以上		
	応用数理Ⅱ			2			2				
	環境数理モデルA			2			2		2単位以上		
環境数理モデルB			2			2					
計量アナリシスⅡ			2			2		2単位以上			
環境統計モデル			2			2					
情報と職業				2			2	選択科目 30単位以上			
情報数理インターンシップ				2			2				
情報化社会と技術(工学部開講)				2			2				
計算機アーキテクチャⅠ(工学部開講)				2			2				
土壌科学概論		2					2				
植生管理学		2					2				
廃棄物マネジメント			2				2				
景観論Ⅰ			2				2				
数値解析学			2				2				
農村整備学			2				2				
森林環境論			2				2				
環境政策論				2			2				
労働環境工学				2			2				

■環境デザイン工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境デザイン工学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	○	○	○	○										
	健やかに生きる	○	○	○	○										
	自然と技術	○	○	○	○										
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで			
	自然科学	○	○	○	○					4	6単位まで				
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○						2単位まで			
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○								1単位まで			
情報科学												卒業要件単位外			
外国 語 科 目	英語	英語 (環境理工 2)		○							2	8単位まで			
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○								4	
		基礎英語													卒業要件単位外
		英語特別演習 (1, 2)													卒業要件単位外
		上級英語	○	○	○	○									
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○								4	8単位まで		
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○										留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる
教養教育科目 計															32

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目 区分	授業科目	配当年次及び 週授業時間数				単 位			履修要件	卒業要件 単 位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択 必修	選択			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2			共通科目 4単位	専門基礎科目 28単位
		技術者倫理	2				2				
		キャリア形成論		2					2		
	基礎科学系科目	情報処理入門	2				2			基礎科学・環境科学系科目 24単位	
		基礎からの力学	2				2				
		現代の物理学	2				2				
		線形代数Ⅰ	2					2			
		統計学Ⅰ	2					2			
		現代の化学	2					2			
		線形代数Ⅱ	2						2		
	統計学Ⅱ	2						2			
	環境科学系科目	水質学		2			2			環境科学系科目 8単位を含むこと	
		基礎地球科学	2					2			
		環境生物学		2					2		
		地球と環境	2						2		
		環境と地盤	2						2		
		気象と水象	2						2		
		エネルギーとエントロピー	2						2		
		循環型社会システム			2				2		
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ				2				2			
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ				2				2			
環境影響評価学				2				2			
環境と物質				2				2			
専門科目	変形体力学Ⅰ及び演習	4				3			必修科目 37単位	専門科目 69単位	
	測量学		2			2					
	測量学実習		3			1					
	情報処理及び演習		2			3					
	構造材料学		2			2					
	土質力学Ⅰ		2			2					
	水理学及び演習		4			3					
	廃棄物マネジメント		2			2					
	土質力学演習			2		1					
	外国書講読			2		2					
	大気環境学			2		2					
	都市・地域計画学			2		2					
	景観論Ⅰ			2		2					
	卒業論文※					10					
	[選択科目]A群	2									A群の選択必修科目 4単位
	解析学						2				
	応用解析学A		2				2				
	応用解析学B		2				2				
	数値解析学			2			2				
	[選択科目]B群			2				2			B群の選択科目 6単位
	変形体力学Ⅱ			2				2			
	振動学			2				2			
	耐震防災工学				2			2			
	コンクリート構造設計学Ⅰ				2			2			
	コンクリート構造設計学Ⅱ				2			2			
	鋼構造設計学				2			2			
	[選択科目]C群			2				2			C群の選択科目 4単位
	土質力学Ⅱ			2				2			
	地下水環境工学			2				2			
	地盤工学				2			2			D群の選択科目 6単位
	地盤環境工学				2			2			
	[選択科目]D群			4				3			D群の選択科目 6単位
	水理設計学及び演習			4				2			
	流域環境学			2				2			
	環境水理学				2			2			
	河川環境学				2			2			
	沿岸環境学				2			2			
	[選択科目]E群				2			2			E群の選択科目 4単位
	上下水道学				2			2			
	水環境解析				2			2			
	生態毒性学				2			2			
	衛生薬学Ⅱ(薬学部開講)				2			2			
[選択科目]F群			2				2	F群の選択科目 6単位			
計画数理			2				2				
交通計画学				2			3				
景観論Ⅱ及び演習				4			2				
環境計画学				2			1				
計画学演習				2			1				
[選択科目]実験系			2				1	実験系の選択必修科目 2単位			
土質試験法及び実験			2				1				
材料試験法及び実験							1				
水理計測法及び実験				2			1				
水・環境質計測法及び実験				2			1				
[選択科目]実習系							1				
環境デザイン工学インターンシップ							1				

選択科目A群及び選択科目実験系は必ず履修し、選択科目B群～F群の5群のうち3群について「履修要件」を満たすこと。
 ※卒業論文の可否判定は、卒業論文の内容と別途実施する学力試験及び技術者倫理レポートの成績により行う。

■環境管理工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位		
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件			
ガイダンス科目	環境管理工学概論	○								2			2		
主題 科目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目	○	○	○	○									
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目	○	○	○	○									
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目	○	○	○	○									
個別 科目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目	○	○	○	○							4単位まで		
	自然科学	自然科学系科目	○	○	○	○					6		8単位まで		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○								2単位まで	
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○										1単位まで	
情報科学													卒業要件単位外		
外 国 語 科 目	英 語	英語 (環境理工3)		○							2		8単位まで		
		英語 (ネイティブ)	○								2				
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)			○	○						4			
		基礎英語												卒業要件単位外	
		上級英語	○	○	○	○								4	8単位まで
	英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○						
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○											
		ドイツ語中級			○	○									
	フランス語	フランス語初級	○	○											
		フランス語中級			○	○									
	中国語	中国語初級	○	○											
		中国語中級			○	○									
	韓国語	韓国語初級	○	○											
		韓国語中級			○	○									
	ロシア語	ロシア語初級													
		ロシア語中級													
	スペイン語	スペイン語初級													
		スペイン語中級													
	イタリア語	イタリア語初級													
		イタリア語中級													
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○								留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる		
教養教育科目 計												33			

(注) 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

専門教育科目

科目 区分	授業科目	配当年次及び 週授業時間数				単 位			履修要件	卒業要件 単 位		
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	必修	選択	自由				
専門基礎科目	共通 環境理工学入門	2				2			共通科目 4単位	専門基礎 科目22 単位		
	技術者倫理 キャリア形成論	2	2			2	2					
	基礎 科学 系科 目	情報処理入門	2				2				基礎科学系 科目8単位	
		物理入門	2				2					
		現代の化学	2				2					
		統計学Ⅰ	2					2				
		統計学Ⅱ		2				2				
		基礎からの力学	2					2				
	環境 科学 系科 目	物質化学入門	2					2			環境科学系 科目10単位	
		環境と生物	2				2					
		気象と水象	2				2					
		環境と地理	2				2					
		地球と環境	2					2				
		水質学		2				2				
		エネルギーとエントロピー	2					2				
		環境と物質		2				2				
		環境と地盤		2				2				
		環境生物学		2				2				
環境影響評価学			2				2					
基礎地球科学		2					2					
循環型社会システム		2				2						
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ		2				2						
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		2				2						
専門科目	環境管理数学	2				2			必修科目 58単位	専門科目 74単位		
	環境管理工学演習			2		1						
	分野演習			2		1						
	土壌科学概論	2				2						
	植生管理学	2				2						
	基礎地形情報学		2			2						
	土壌の物質移動学		2			2						
	生産基盤管理学			2		2						
	流体力学入門	2				2						
	流域水文学		2			2						
	水資源利用学			2		2						
	水文環境管理学			2		2						
	構造力学Ⅰ	2				2						
	構造力学Ⅱ		2			2						
	土質力学		2			2						
	環境施設設計学			2		2						
	地域景観論		2			2						
	土地利用計画学		2			2						
	公共財管理論			2		2						
	地域開発論			2		2						
	農村計画論		2			2						
	農村整備学			2		2						
	基礎地形情報学実習		6			2						
	環境生物学実験			3		1						
	土壌物理実験			3		1						
	水利実験			3		1						
	土質・コンクリート実験			3		1						
	卒業論文					10						
	土壌圏管理学		2				2				2単位 以上	選 択 科 目 16 単 位
	土壌物理学		2				2					
	水理学		2				2					
	地域経済学	2					2					
	応用解析学A		2				2					
環境気象学		2				2		2単位 以上				
地盤防災工学		2				2						
環境経済学		2				2						
環境情報処理		2				2						
応用解析学B		2				2						
水域環境管理学			2			2		2単位 以上				
環境施設管理学			2			2						
コンクリート工学			2			2						
環境管理工学実習			6			2						
地形情報管理学			2			2		2単位 以上				
森林環境論			2			2						
景観管理学			2			2						
外国書講読			2			2						
地形情報管理学実習			6			2						
土地利用計画学演習			4			2						

■環境物質工学科

教養教育科目

科目区分	授業科目群	開講セメスター								学生に履修指導をする 単位数及び履修要件			卒業 要件 単位					
		1 se	2 se	3 se	4 se	5 se	6 se	7 se	8 se	必修 単位	選択 必修 単位	履修要件						
ガイダンス科目	環境物質工学概論	○								2			2					
主題 科目	現代の課題	○	○	○	○						8	すべての主題グループからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修						
	人間と社会	○	○	○	○													
	健やかに生きる	○	○	○	○													
	自然と技術	○	○	○	○													
個別 科目	人文・社会科学	○	○	○	○							6単位まで						
	自然科学	○	○	○	○						7	7単位まで						
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学	○	○	○	○							2単位まで					
		スポーツ実習 (A, B, C, D, E, F)	○	○									1単位まで					
情報科学												卒業要件単位外						
外国 語 科 目	英語	英語 (環境理工4)		○							2	4	8単位まで					
		英語 (ネイティブ)	○								2							
		英語 (オラコン), 英語 (作文・文法), 英語 (読解), 英語 (検定)			○	○												
		基礎英語														卒業要件単位外		
		上級英語	○	○	○	○										4	8単位まで	
		英語特別演習 (1, 2)					○	○	○	○								
	ドイツ語	ドイツ語初級	○	○														
		ドイツ語中級			○	○												
	フランス語	フランス語初級	○	○														
		フランス語中級			○	○												
	中国語	中国語初級	○	○														
		中国語中級			○	○												
	韓国語	韓国語初級	○	○														
		韓国語中級			○	○												
	ロシア語	ロシア語初級																
		ロシア語中級																
	スペイン語	スペイン語初級																
		スペイン語中級																
	イタリア語	イタリア語初級																
		イタリア語中級																
日本語	日本語 (A, B, C, D, E)	○	○	○	○							留学生用 上記の外国語科目に代えて履修することができる						
教養教育科目 計												35						

(注) 1 科目区分「主題科目」の講義科目「学内自主演習」で修得した単位は、卒業要件として認められる単位に含まれないものとする。

2 「個別科目」の「自然科学」の中から、生物、物理、地学のいずれかを主たる内容とする科目（実験を除く）を必ず1科目以上修得すること。ただし、専門基礎科目「現代の物理学」「基礎からの力学」をもってこれに代えることができる。

また、「教養物理学実験」は、専門科目「環境化学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の履修に必要なので必ず修得すること。

専門教育科目

科目 区分	授業科目	配当年次及び 週授業時間数				単 位			履修要件	卒業要件 単 位	
		1年次	2年次	3年次	4年次	必修	選択	自由			
専門基礎科目	共通	環境理工学入門	2				2			共通科目 4~6単位	専門基礎科目 24単位
		技術者倫理	2				2				
		キャリア形成論		2				2			
	基礎科学系科目	プログラミング入門	2				2			基礎科学系必修科目 6単位と選択科目 8単位以上	
		基礎物理化学	2				2				
		物質数理科学		2			2				
		情報処理入門	2					2			
		工学基礎	2					2			
		統計学Ⅰ	2					2			
		統計学Ⅱ	2					2			
		現代の物理学		2				2			
		基礎からの力学	2					2			
	物質化学入門	2					2				
	環境科学系科目	循環型社会システム		2			2			環境科学系必修科目 4単位と選択科目 2単位以上	
		環境影響評価学		2			2				
環境と生物			2				2				
気象と水象		2					2				
地球と環境		2					2				
水質学			2				2				
エネルギーとエントロピー		2					2				
環境と物質			2				2				
環境生物学			2				2				
基礎地球科学		2					2				
実践型水辺環境学及び演習Ⅰ		2				2					
実践型水辺環境学及び演習Ⅱ		2				2					
専門科目	物理化学A	2				2			必修科目 43単位	専門科目 71単位	
	熱力学		2			2					
	物理化学B		2			2					
	物理化学C		2			2					
	化学結合論Ⅰ	2				2					
	化学結合論Ⅱ		2			2					
	無機化学		2			2					
	有機化学Ⅰ	2				2					
	有機化学Ⅱ	2				2					
	高分子化学Ⅰ			2		2					
	化学工学A		2			2					
	化学工学B		2			2					
	反応工学			2		2					
	外国書講読			2		2					
	環境分析化学実験		6			2					
	環境化学実験Ⅰ			3		1					
	環境化学実験Ⅱ			3		1					
	環境化学実験Ⅲ			3		1					
	卒業論文					10					
	応用解析学A		2				2				3科目選択必修
	応用解析学B		2				2				
	環境分析化学		2				2				
	機器分析			2			2		1科目選択必修		
	固体化学			2			2				
	セラミックス物性化学			2			2		1科目選択必修		
	無機材料化学			2			2				
	有機化学Ⅲ		2				2				
	環境有機化学			2			2		1科目選択必修		
	高分子化学Ⅱ			2			2				
	分離工学			2			2				
	環境触媒化学			2			2		1科目選択必修		
	化学プロセス工学			2			2				
	化学装置設計				2		2				
環境政策論			2			2		3科目選択必修			
労働環境工学			2			2					
環境物質工学実習			1			1					
環境物質工学各論Ⅰ				1		1					
環境物質工学各論Ⅱ				1		1					

2 環境理工学部成績評価基準

1. 各授業科目の成績評価は、担当教員が環境理工学部及び学科の理念・目標に沿った上で、授業科目の特性に応じた到達目標を設定し、その到達目標に対する学生の到達度に基づき行う。到達目標と評価の方法はシラバスに明示する。
2. 成績評価は、各科目の特性を踏まえて、授業の形態と内容に対応した適切で多面的な方法により行い、授業及び授業時間外の自己学習を通して得られた学習効果も適切に反映されるように努める。そのことはシラバスに明示する。
3. 成績評価の評語

【平成20年度以降入学生】

成績評価は、シラバスに明示した成績評価基準にしたがって行い、「A+」、「A」、「B」、「C」、「修了」、「認定」及び「F」の評語をもって表す。

「A+」（100点～90点）、「A」（89点～80点）、「B」（79点～70点）、「C」（69点～60点）を合格、「F」（59点以下）を不合格とする。ただし、必要と認める場合は「A+」、「A」、「B」、「C」の評語に代えて「修了」又は「認定」とすることがある。

また、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の必須の資料を欠く場合については「F」とする。

【平成19年度以前入学生】

成績評価は、シラバスに明示した成績評価基準にしたがって行い、優、良、可、修了、認定及び不可の評語をもって表す。

優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）を合格、不可（59点以下）を不合格とする。ただし、必要と認める場合は優、良、可、の評語に代えて修了又は認定とすることがある。

また、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の必須の資料を欠く場合については不可とする。

なお、担当教員は、成績評価に関して予め学生によく周知させておくとともに、学生からの質問に対して適切に対応しなければならない。

3 岡山大学環境理工学部における卒業論文の認定基準

1. 卒業論文提出者は、社会に生かす専門性を身につけ、問題設定・解決に向けた研究および技術開発に取り組むための基盤となる学識を有していること。
2. 卒業論文は、信頼性の十分なデータと誠実な考察に基づいて、明快かつ論理的に書かれていること。
3. 卒業論文は、十分な内容と価値ある成果を含んでいること。
4. 卒業論文の内容は、主体的な学習によって得られたものであること。

〈GPA制度について〉

岡山大学では、平成20年度入学生よりGPA制度（GPA：Grade Point Average）を導入しています。

1. GPA制度とは

- ① 平成19年度以前入学生の成績評価は、優・良・可・不可の4段階でしたが、平成20年度以降入学生は、A+・A・B・C・Fの5段階評価とします。

これまでの成績評価	
成績（評点）	評語
80-100点	優
70-79点	良
60-69点	可
0-59点	不可

} 合格
} 不合格

GPA制度による成績評価		
成績（評点）	評語	GP
90-100点	A+	4
80-89点	A	3
70-79点	B	2
60-69点	C	1
0-59点	F	0

} 合格
} 不合格

- ② GPA制度とは履修登録した科目毎の5段階評価を4から0までの点数（GP：Grade Point）に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点です。

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP）の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

※ 途中で履修放棄した科目について、所定の期間中に履修取消手続をしなかった場合は、「履修登録した授業科目の単位数の合計」に含まれますので、注意してください！！

- ③ 例えば、次の架空の成績をもとにGPAを考えると以下ようになります（実際には、皆さんは一学期間にもっと多くの科目を履修します）。

科目名	単位数（a）	評点	評語	GP（b）	a×b
〇〇学概論	2	95	A+	4	8
〇〇学要説	2	85	A	3	6
□□学演習Ⅰ	2	55	F	0	0
□□学演習Ⅱ	2	70	B	2	4
△△基礎実験	1	90	A+	4	4
計	9				22

上記の成績の学生の場合

履修登録した授業科目の単位数の和=9

（履修登録した授業科目の単位数×当該授業科目のGP）の和=22

$$\text{GPA} = 22 \div 9 = \underline{2.44}$$

2. GPAの対象とならない科目

- ・評点を示さず、認定または修了によって単位を取得できる科目
- ・岡山大学以外で修得した科目を単位として認めたもの
- ・各学部・研究科によって定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目

4 試験について

- 1) 試験科目、日時及びその他必要事項は、掲示または授業担当教員によって指示されます。
- 2) 病気その他やむを得ない理由で受験できなかった場合は、授業担当教員の判断によって追試験を受けられることがあります。
- 3) 試験における不正行為等の取扱いについて
不正行為または不正行為と疑われる行為は断じて行わないこと。万が一、不正行為または不正行為と疑われる行為を行った場合の取扱いは以下に示すとおりです。
また、受験にあたっては、以下に示す「受験心得」の各事項に留意してください。そのほか授業担当教員（監督者）の指示がある場合には、その指示に従ってください。

試験における不正行為等の取扱い

- ①不正行為が判明した場合、退学又は停学の懲戒処分とする。
(退学)
 - 一 代理（替玉）受験をしたり、させた場合
 - 二 その他特に悪質な不正行為をした場合(停学)
 - 一 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合
 - 二 答案を交換した場合
 - 三 その他不正行為を行った場合
- ②不正行為が判明した場合、当該学生の所属する学部長は、当該学生に対し直ちに謹慎を命ずる。
- ③不正行為が行われた試験及びその期における以後の試験は、当該学生に対し無効とする。
- ④共謀の不正行為にあつては、依頼者及び被依頼者とも原則として同一の処分とする。
- ⑤停学期間は、3月を超えるものとし、始期は不正行為のあった日の翌日とする。
- ⑥不正行為を行おうとした場合及び試験場において監督者の注意又は指示に従わない者には、退場を命じ、その試験を無効とする。

受験心得

受験（中間試験等を含む）にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験時間開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。携帯電話・PHS等は、必ず電源を切って入れること。
- ⑤ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑥ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑦ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑧ 答案用紙には、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。
自己の机の上に置いて退出すると無効になる。
- ⑨ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条により厳重な懲戒処分を行う。

5 履修上の注意

授業科目は、教養教育科目と専門教育科目に分かれており、各学科の授業科目、単位数及び履修方法等は、「岡山大学環境理工学部履修細則」のとおりです。教養教育科目履修の手引き・授業時間表、環境理工学部時間割表、学生便覧及びシラバス等に基づき履修計画を立て、前期及び後期それぞれの学期ごとに定められた期間内に、履修手続きを行ってください。

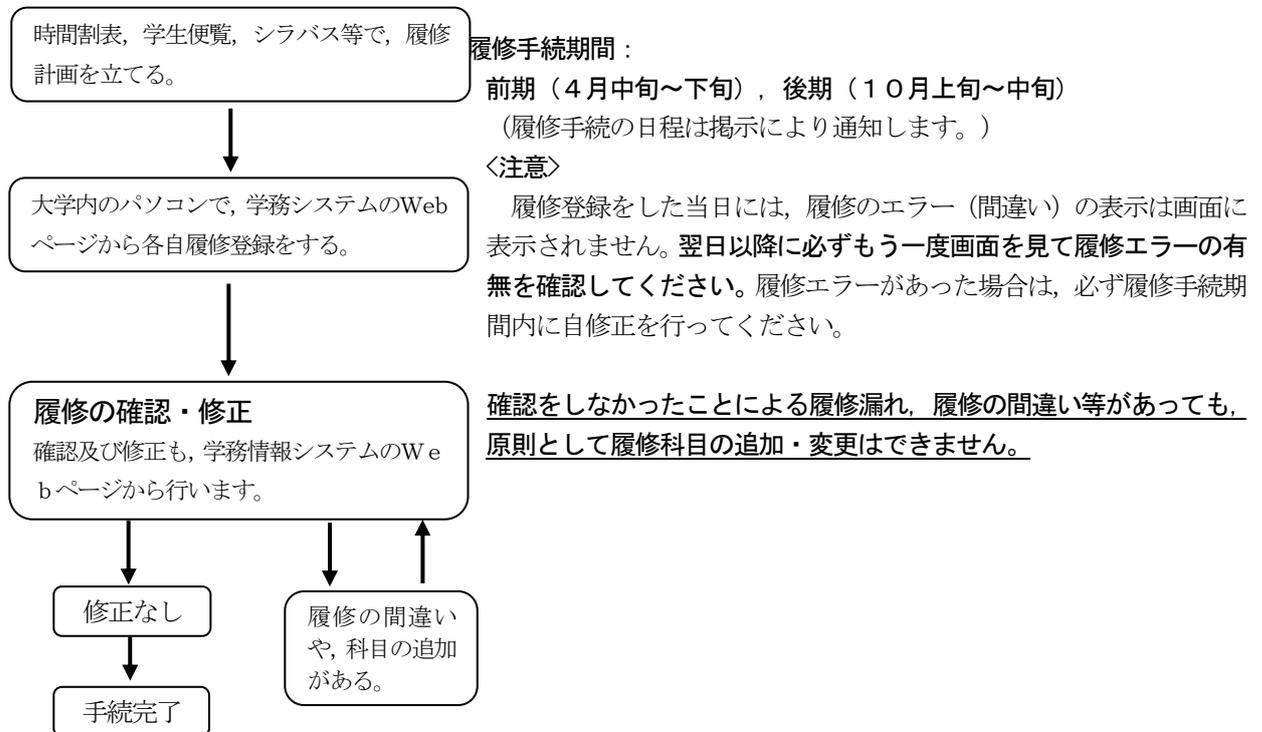
6 授業科目の履修登録について

履修登録は、大学内に設置されているパソコンから、学務システムのWebページ（インターネット）により行います。入学時に配布された学務システムの利用に必要なパスワード等は、忘れたり紛失したりしないように注意してください。

学務システムURL : <http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/index.html>

「岡山大学HP」→「在学生・教職員の皆様へ」→「在学生のためのキャンパスライフ」
→「学務システム（履修・成績など）」

【履修手続の流れ】



7 教養教育科目の履修登録上限制について

環境理工学部では、教養教育科目における履修登録上限制を実施しています。教養教育科目の履修登録単位数が前期・後期を合算して**26単位以下**になるように履修計画を立ててください。（この26単位には、取得できなかった単位数も含むことに注意してください。）

8 他学部の授業科目の履修について

1) 教職に関する科目

教育職員免許状取得のための教育学部の授業科目（教職に関する科目）を履修する場合は、教育学部の講義番号で登録してください。

2) 他学部開設の授業科目

他学部開設の授業科目の履修を希望する場合は、授業担当教員及び所属学科の承認を得て履修登録を行ってください。授業科目によっては卒業要件として認められないものがあるので注意が必要です。

9 平成19年度以前入学者の履修について

カリキュラムの変更等のため、一部科目が平成19年度以前入学者の入学時の授業科目名と異なる授業科目名で開講されている場合があります。履修にあたっては所属学科等の指導に従い、授業科目の読み替えに留意して本年度の履修計画を立ててください。

卒業要件単位数及び卒業論文履修資格単位数については、入学年度の学生便覧を参照してください。

[1] 平成22年度開講授業科目の履修について

■教養教育科目

教養教育科目の科目区分が平成14年度、平成18年度、平成19年度及び平成20年度に変更されているので、入学年度に対応する「教養教育科目履修の手引き」を参考に履修してください。

■専門科目

1. 平成18年度以前入学者が「キャリア形成論」を履修した場合の取り扱いは次のとおりです。

学科	取扱い
環境数理学科	専門科目・自由科目
環境デザイン工学科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環境管理工学科	専門基礎科目・学部共通科目・選択科目
環境物質工学科	平成16～18年度入学者 専門基礎科目・学部共通科目・選択科目

2. 下記科目は平成22年度「専門科目」で開講されますが、平成19年度以前入学者が履修した場合は「専門基礎科目」となります。

学科	平成19年度以前入学者		平成22年度開講科目		
		授業科目		講義番号	授業科目
環境数理学科	専門基礎科目	基礎科学系科目	専門科目	106022	微分積分Ⅰ
				106024	微分積分Ⅰ演習
				106023	微分積分Ⅱ
				106025	微分積分Ⅱ演習

3. その他

平成21年度以前入学者は、各学科読替授業科目等を参考に履修してください。

平成22年度授業科目開講期一覧は、p53～56です。

10 外部検定試験による単位認定について

外部検定試験（TOEIC, 英検ほか）の級又は得点によっては、教養教育科目の外国語科目の単位認定を受けることができます。対象となる検定試験及び基準は次のとおりです。

外部検定試験における単位認定基準（平成20年度以降入学者用）

※平成19年度以前入学者については、入学年度の学生便覧で認定基準を確認してください。

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	470～585点 (OT3) 590～725点 (OT2)	別表の③から⑥の中より選択 2単位 別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英 検)	準 1 級	別表の①から⑥の中より選択 4単位
	国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	B 級	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む)	500点以上	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT)	173点以上	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	61点以上	
	【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC・IPを含む)	730点以上 (OT1)	英語 (ネイティブ) 2単位 及び 別表の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英 検)	1 級	別表の①から⑥の中より選択 8単位
	国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検)	A 級	
	Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む)	550点以上	
Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT)	213点以上		
Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	79点以上		
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	5 級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) 又は ドイツ語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4 級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) 4単位
		3 級 以上	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) ドイツ語初級Ⅱ (総合) ドイツ語中級 8単位

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
フランス語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5 級	フランス語初級 I (文法) 又は フランス語初級 I (読本) 2単位
		4 級	フランス語初級 I (文法) フランス語初級 I (読本) フランス語初級 II (文法) フランス語初級 II (読本) フランス語初級 I (総合) } 4単位
		3 級 以 上	フランス語初級 I (文法) フランス語初級 I (読本) フランス語初級 II (文法) フランス語初級 II (読本) フランス語初級 I (総合) フランス語初級 II (総合) フランス語中級 } 8単位
中 国 語	漢語水平考試 (HSK)	基礎 1 級	中国語初級 I (文法) 又は 中国語初級 I (読本) 2単位
		基礎 2 級	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級 II (文法) 中国語初級 II (読本) } 4単位
		基礎 3 級 及 び 初中等 1 級 以上	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級 II (文法) 中国語初級 II (読本) 中国語中級 } 8単位
韓 国 語	韓国語能力試験	1 級	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級 II (文法) 韓国語初級 II (読本) 韓国語初級 I (総合) } 4単位
		2 級 以 上	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級 II (文法) 韓国語初級 II (読本) 韓国語初級 I (総合) 韓国語初級 II (総合) 韓国語中級 } 8単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5 級	イタリア語初級 I (文法) 又は イタリア語初級 I (読本) 2単位
		4 級	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級 II (文法) イタリア語初級 II (読本) } 4単位
		3 級 以 上	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級 II (文法) イタリア語初級 II (読本) イタリア語中級 } 8単位

科 目	認定の対象とする外部検定試験等	合 格 基 準	認定する授業科目・単位数
スペイン語	スペイン語技能検定	6 級	スペイン語初級Ⅰ（文法） 又は スペイン語初級Ⅰ（読本） 2単位
		5 級	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本） } 4単位
		4 級 以 上	スペイン語初級Ⅰ（文法） スペイン語初級Ⅰ（読本） スペイン語初級Ⅱ（文法） スペイン語初級Ⅱ（読本） スペイン語中級 } 8単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とします。
 2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とします。
 3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とします。
 4 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、イタリア語及びスペイン語に関しては、一つの授業科目について外部検定試験等による単位認定は1回限りとします。

別 表

項 番	授 業 科 目 名
①	英語（環境理工1・2・3・4）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

単位認定の申請について

年に2回（9月認定，3月認定）申請を受け付けますので，単位認定願等の必要書類を提出してください。
 提出期間等詳細はその都度掲示します。

■ 専門科目

環境数理学科

平成15～18年度入学者	平成19年度入学者	平成22年度開講科目		備考
授業科目	授業科目	講義番号	授業科目	
(専門基礎科目)	(専門基礎科目)	106022	微分積分Ⅰ	
		106024	微分積分Ⅰ演習	
		106023	微分積分Ⅱ	
		106025	微分積分Ⅱ演習	
計算機リテラシ入門	計算機リテラシ入門	106015	計算機リテラシ入門	
離散数学入門	離散数学入門	106016	離散数学入門	
微分方程式論	応用解析学A	106001	応用解析学A	
ベクトル解析	ベクトル解析	106018	ベクトル解析	
情報統計学	情報統計学	106019	情報統計学	
数理統計学Ⅰ	数理統計学Ⅰ	106006	数理統計学Ⅰ	
プログラミング言語	プログラミング言語	106021	プログラミング言語	
卒業論文	卒業論文	106014	卒業論文	
情報課題研究	情報課題研究	106020	情報課題研究	
計算機操作入門	計算機操作入門	106120	計算機操作入門	
計算機理論入門	計算機理論入門	106121	計算機理論入門	
線形代数Ⅲ	線形代数Ⅲ	106122	線形代数Ⅲ	
グラフとアルゴリズム	グラフとアルゴリズム	106123	グラフとアルゴリズム	
プログラミング言語演習	プログラミング言語演習	106143	プログラミング言語演習	
計算解析Ⅰ	計算解析	106141	計算解析	
計算解析Ⅱ	数値シミュレーションⅠ	106146	数値シミュレーションⅠ	
代数学Ⅰ	代数学Ⅰ	106101	代数学Ⅰ	
代数学Ⅱ	代数学Ⅱ	106104	代数学Ⅱ	
幾何学基礎	幾何学基礎	106126	幾何学基礎	
幾何学要論	幾何学要論	106127	幾何学要論	
複素関数論	応用解析学B	106002	応用解析学B	
フーリエ解析	フーリエ解析と偏微分方程式	106153	フーリエ解析と偏微分方程式	
偏微分方程式論	偏微分方程式とその応用	106144	偏微分方程式とその応用	
確率論	確率論	106131	確率論	
応用数理Ⅰ	応用数理Ⅰ	106217	応用数理Ⅰ	集中講義
応用数理Ⅱ	応用数理Ⅱ		応用数理Ⅱ	非開講
応用数理特論Ⅰ	—			非開講
応用数理特論Ⅱ	—			非開講
実験数理	実験数理	106132	実験数理	
実験情報数理	実験情報数理		実験情報数理	非開講
環境アナリシスⅠ	環境アナリシス	106148	環境アナリシス	
環境アナリシスⅡ	環境数理モデルB		環境数理モデルB	非開講
環境情報モデル学Ⅰ	数値シミュレーションⅡ	106147	数値シミュレーションⅡ	
環境情報モデル学Ⅱ	環境情報モデル学	106149	環境情報モデル学	
環境数理解析	力学系とモデリング	106145	力学系とモデリング	
数理生物学特論	環境数理生物学	106150	環境数理生物学	
環境数理モデル	環境数理モデルA	106151	環境数理モデルA	集中講義
数理統計学Ⅱ	数理統計学Ⅱ		数理統計学Ⅱ	非開講
環境統計科学Ⅰ	環境統計科学Ⅰ		環境統計科学Ⅰ	非開講
環境統計科学Ⅱ	環境統計科学Ⅱ	106211	環境統計科学Ⅱ	
計算統計学Ⅰ	計算統計学Ⅰ	106138	計算統計学Ⅰ	
計算統計学Ⅱ	計算統計学Ⅱ	106139	計算統計学Ⅱ	
計量アナリシスⅠ	計量アナリシスⅠ	106118	計量アナリシスⅠ	
計量アナリシスⅡ	計量アナリシスⅡ		計量アナリシスⅡ	非開講
環境統計モデル	環境統計モデル	106218	環境統計モデル	集中講義
外国書講読	環境数理学演習	106142	環境数理学演習	
情報と職業	情報と職業	106213	情報と職業	集中講義
情報数理インターンシップ	情報数理インターンシップ	106214	情報数理インターンシップ	集中講義
情報化社会と技術	情報化社会と技術	106216	情報化社会と技術	集中講義

環境デザイン工学科 授業科目読み替え表

区分	平成16年度入学者	平成17年度入学者	平成18年度入学者	平成19年度入学者	平成20年度入学者	平成21年以降入学者
専門基礎科目	自然と科学	循環型社会システム				
	技術者倫理					
	卒業要件外			キャリア形成論		
	情報処理 (C言語) *1			情報処理及び演習 *1「情報処理 (C言語)」のみ取得の場合は、講義番号105046で登録 *2「情報処理 (Fortran言語)」のみ取得の場合は、講義番号105045で登録		
	情報処理 (Fortran言語) *2					
	自然と科学修得者は専門基礎・環境科学・選択	循環型社会システム				
卒業要件外				実践型水辺環境学及び演習	実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	
専門科目	プログラミング言語 (環境数理学科)			(H20以降非開講)		
	(専門の選択科目) A群			解析学		
	変形体力学Ⅱ及び演習 「変形体力学Ⅱ」及び「振動学」を同時に履修すること			変形体力学Ⅱ 振動学		
	コンクリート構造設計学及び演習 コンクリート構造設計学Ⅰ及びⅡを同時に履修すること		コンクリート構造設計学Ⅰ コンクリート構造設計学Ⅱ			
	構造材料学	構造材料学及び実験			構造材料学	
	材料試験法及び実験				材料試験法及び実験	
	耐震防災工学			(専門の選択科目)		耐震防災工学
	環境振動論			(H20以降非開講)		
	地下空間工学			地盤工学		
	地盤環境防災工学			地盤環境工学		
	環境水理			環境水理学		
	水理学及び演習			水理学 *3		水理学及び演習 *3「水理学」のみ取得の場合は、専用の講義番号107003で登録 *4「水理学演習」のみ取得の場合は、専用の講義番号107170で登録
				水理学演習 *4		
	水質計測法及び実験			水・環境計測法及び実験		
	選択科目D群 選択科目	流域水文学 (環境管理工学科)			流域環境学	
	公衆衛生学(薬)	衛生薬学Ⅱ (薬)				
	都市経済学 (経済) H21年度まで開講			廃止		
	地域経済学 (経済) H21年度まで開講			廃止		
	文明と環境形成の歴史			景観論Ⅰ		
	地形・地理情報解析			廃止 (平成19年度以前の入学者で履修希望者には、集中講義等で対応します。)		
	景観論及び演習			景観論Ⅱ及び演習		

※平成22年度は、太字の授業科目が開講されます。

(注) 入学年度により卒業要件の科目区分が異なります。入学年度の学生便覧で確認してください。

■専門科目
環境管理工学科

平成16・17年度入学者		平成18年度以降入学者			備考
授業科目	要件	講義番号	授業科目	要件	
基礎地形情報学	必修	108014	基礎地形情報学	必修	
基礎地形情報学実習	必修	108015	基礎地形情報学実習	必修	
土壌科学概論	必修	108003	土壌科学概論	必修	
植生管理学	必修	108004	植生管理学	必修	
土壌物理学	選択	108005	土壌物理学	選択	
流体力学入門	必修	108006	流体力学入門	必修	
流域水文学	必修	108007	流域水文学	必修	
構造力学Ⅰ	必修	108008	構造力学Ⅰ	必修	
土質力学	必修	108009	土質力学	必修	
環境経済学	選択	108010	環境経済学	選択	
土地利用計画学	必修	108011	土地利用計画学	必修	
地域景観論	必修	108012	地域景観論	必修	
環境生物学実験	必修	108114	環境生物学実験	必修	
土壌物理実験	必修	108115	土壌物理実験	必修	
水利実験	必修	108116	水利実験	必修	
土質・コンクリート実験	必修	108117	土質・コンクリート実験	必修	
卒業論文	必修	108013	卒業論文	必修	
講座演習	必修	108018	環境管理工学演習	必修	
分野演習	必修	108017	分野演習	必修	
水域環境管理学	選択	108104	水域環境管理学	選択	
土壌圏管理学	選択	108105	土壌圏管理学	選択	
生産基盤管理学	必修	108106	生産基盤管理学	必修	
水資源利用学	必修	108107	水資源利用学	必修	
水文環境管理学	必修	108108	水文環境管理学	必修	
環境施設設計学	必修	108109	環境施設設計学	必修	
環境施設管理学	選択	108110	環境施設管理学	選択	
公共財管理論	必修	108111	公共財管理論	必修	
地域経済学	選択	108112	地域経済学	選択	
景観管理学	選択	108113	景観管理学	選択	
地形情報管理学	選択	108118	地形情報管理学	選択	
環境情報処理	選択	108201	環境情報処理	選択	
地形情報管理学実習	選択	108218	地形情報管理学実習	選択	
外国書講読	選択	108212	外国書講読	選択	
土壌の物質移動学	必修	108204	土壌の物質移動学	必修	
水理学	選択	108206	水理学	選択	
環境気象学	選択	108207	環境気象学	選択	
構造力学Ⅱ	必修	108208	構造力学Ⅱ	必修	
地盤防災工学	選択	108209	地盤防災工学	選択	
地域開発論	必修	108210	地域開発論	必修	
土地利用計画学演習	選択	108211	土地利用計画学演習	選択	
環境管理工学実習	選択	108213	環境管理工学実習	選択	
森林環境論	選択	108214	森林環境論	選択	
農村整備学	必修	108215	農村整備学	必修	
コンクリート工学	選択	108217	コンクリート工学	選択	
環境管理数学	必修	108219	環境管理数学	必修	
応用解析学A	選択	106001	応用解析学A	選択	
応用解析学B	選択	106002	応用解析学B	選択	
農村計画論	必修	108016	農村計画論	必修	

環境数理学科 平成22年度授業科目開講期一覧

科目区分		開講期							
		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通	技術者倫理	環境理工学入門		キャリア形成論				
	基礎科学系科目	線形代数Ⅰ 統計学Ⅰ 基礎からの力学 統計学Ⅰ 現代の化学	線形代数Ⅱ 線形代数Ⅱ演習 統計学Ⅱ 現代の物理学 統計学Ⅱ 現代の物理学						
	環境科学系科目	環境と生物 地球と環境	気象と水象	循環型社会システム 水質学 環境と物質 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	環境生物学 環境と地理2 エネルギーとエントロピー 環境と地盤 環境影響評価学 基礎地球科学 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ				
専門科目		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅰ演習 計算機リテラシ入門	微分積分Ⅱ 微分積分Ⅱ演習	離散数学入門 応用解析学A ベクトル解析 情報統計学 プログラミング言語 プログラミング言語演習	数理統計学Ⅰ 計算解析 グラフとアルゴリズム		環境数理学演習	卒業論文 情報課題研究	卒業論文 情報課題研究
			計算機操作入門 計算機理論入門						
				線形代数Ⅲ	代数学Ⅰ 幾何学基礎 応用解析学B	代数学Ⅱ 幾何学要論 フーリエ解析と偏微分方程式 確率論 力学系とモデリング			
						実験数理 数値シミュレーションⅠ	数値シミュレーションⅡ 計算統計学Ⅰ		
						計算統計学Ⅱ 数理統計学Ⅱ 計量アナリシスⅠ			
						環境アナリシス	環境情報モデル学 環境数理生物学 偏微分方程式とその応用 環境統計科学Ⅱ		
						環境数理モデルA 環境統計モデル	応用数理Ⅰ		
				土壌科学概論 植生管理学	情報数理インターンシップ 景観論Ⅰ 数値解析学 農村整備学 労働環境工学	情報数理アーキテクチャⅠ(工学部開講)2 廃棄物マネジメント 森林環境論	情報と職業 情報化社会と技術(工学部開講)	環境政策論	

必修科目

※隔年開講科目がありますので、読替表等で確認してください。

環境デザイン工学科 平成22年度授業科目開講期一覧

科目区分	開講期							
	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目 共通 基礎科学系科目 環境科学系科目	技術者倫理		環境理工学入門		キャリア形成論			
	情報処理入門		現代の物理学					
	基礎からの力学							
	線形代数Ⅰ							
	統計学Ⅰ							
	現代の化学							
			線形代数Ⅱ 統計学Ⅱ					
		基礎地球科学		環境生物学				
地球と環境		環境と地盤 気象と水象 エネルギーとエントロピー		循環型社会システム 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 環境と物質		環境影響評価学 環境と物質		
専門科目	変形体力学Ⅰ及び演習		測量学 測量学実習 情報処理及び演習 構造材料学 土質力学Ⅰ 水理学及び演習		廃棄物マネジメント		土質力学演習 大気環境学 都市・地域計画学 景観論Ⅰ	
	解析学		応用解析学A		応用解析学B		数値解析学	
			変形体力学Ⅱ		振動学		耐震防災工学 コンクリート構造設計学Ⅰ 鋼構造設計学	
					土質力学Ⅱ 地下水環境工学		地盤工学 地盤環境工学	
					水理設計学及び演習 流域環境学		沿岸環境学 河川環境学 水環境解析 衛生薬学Ⅱ(薬学部開講) 生態毒性学	
					計画数理		交通計画学 景観論Ⅱ及び演習 環境計画学 計画学演習	
					土質試験法及び実験 材料試験法及び実験		水理計測法及び実験 水・環境質計測法及び実験	
					環境デザイン工学インターシップ			
							卒業論文	
							卒業論文	

 必修科目

 文字白抜き 選択必修科目

環境管理工学科 平成22年度授業科目開講期一覧

科目区分	開講期								
	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前	後	前	後	前	後	前	後	
専門基礎科目	共	技術者倫理	環境理工学入門		キャリア形成論				
	基礎科学系科目	物理入門 現代の化学 統計学Ⅰ 基礎からの力学 物質化学入門	情報処理入門		統計学Ⅱ				
	環境科学系科目	環境と生物 地球と環境	気象と水象 環境と地理 エネルギーとエントロピー 基礎地球科学	水質学 環境と物質 循環型社会システム 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	環境と地盤 環境生物学 環境影響評価学 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ				
専門科目		環境管理数学	土壌科学概論 植生管理学 流体力学入門 構造力学Ⅰ	基礎地形情報学 構造力学Ⅱ 土質力学 地域景観論 基礎地形情報学実習	土壌の物質移動学 流域水文学 土地利用計画学 農村計画論	環境管理工学演習 生産基盤管理学 水資源利用学 公共財管理論 地域開発論 農村整備学 環境生物学実験 水利実験 土質・コンクリート実験	分野演習 水文環境管理学 環境施設設計学 土壌物理実験	卒業論文	卒業論文
			地域経済学	土壌圏管理学 土壌物理学 水理学 応用解析学A					
					環境気象学 地盤防災工学 環境経済学 環境情報処理 応用解析学B				
						水域環境管理学 環境施設管理学 コンクリート工学 環境管理工学実習			
							地形情報管理学 森林環境論 景観管理学 外国書講読 地形情報管理学実習 土地利用計画学演習		

必修科目

環境物質工学科 平成22年度授業科目開講期一覧

科目区分		平成22年度開講科目一覧(開講期別)							
		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前	後	前	後	前	後	前	後
専門基礎科目	共通	技術者倫理	環境理工学入門		キャリア形成論				
	基礎科学系科目	基礎物理化学 情報処理入門 工学基礎 統計学Ⅰ 基礎からの力学 物質化学入門	プログラミング入門 統計学Ⅱ	物質数理学	現代の物理学				
		地球と環境	気象と水象 エネルギーとエントロピー 基礎地球科学	循環型社会システム 環境と生物 水質学 環境と物質 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	環境影響評価学 環境生物学 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ				
専門科目		有機化学Ⅰ	物理化学A 化学結合論Ⅰ 有機化学Ⅱ	熱力学 化学結合論Ⅱ 化学工学A 環境分析化学実験	物理化学B 物理化学C 無機化学 化学工学B	高分子化学Ⅰ 外国書講読	反応工学 環境科学実験Ⅰ 環境科学実験Ⅱ 環境科学実験Ⅲ	卒業論文	卒業論文
				応用解析学A 環境分析化学	応用解析学B	機器分析			
						固体化学	セラミックス物性化学 無機材料化学		
				有機化学Ⅲ		環境有機化学	高分子化学Ⅱ		
						分離工学 環境触媒化学	化学プロセス工学	化学装置設計	
						環境政策論 環境物質工学実習		環境物質工学各論Ⅰ 環境物質工学各論Ⅱ	

必修科目